

県立安芸津病院耐震化対応基本計画の概要

1 県立安芸津病院の現況

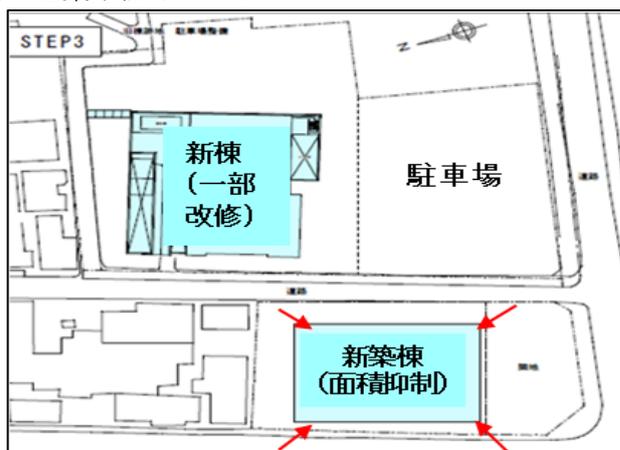
区分	内容
診療科	内科（一般・循環器・消化器）、小児科、外科、整形外科、緩和ケア外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科
病床数	98床（急性期一般病床69床、地域包括ケア病床29床）
建物延面積 敷地面積	建築延べ面積：11,560.20 m ² 既存棟（旧棟）（S49 築）：4,651.49 m ² 〔5階〕 既存棟（新棟）（H3 築）：6,908.71 m ² 〔6階〕 敷地面積：6,929.93 m ²

2 耐震化における施設整備概要等

(1) 施設整備概要

区分	内容
診療科	内科（一般・循環器・消化器）、小児科、外科、整形外科、緩和ケア外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科
病床数	60床（急性期一般病床30床、地域包括ケア病床30床）
建物延面積 敷地面積	【新築棟】 建築延べ面積約5,000 m ² 、敷地面積2,074.45 m ² 【既存棟（新棟）】 建築延べ面積6,908.71 m ² （うち、改修面積約700 m ² ）、敷地面積6,929.93 m ²

(2) 建築手法イメージ



建築手法概要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣地に新築棟を整備 ・ 既存棟（新棟）を一部改修し、事務室等の診療機能と関連性の低い部門で活用 ・ 既存棟（旧棟）を解体し、駐車場に整備

(3) 発注方式

ECI方式等、他の方式と比較した結果、以下の理由で従来方式を採用する。

- ・ 施工の難易度が特に高くないため、他の方式を採用するメリットが小さい。
- ・ 工事入札時のコスト縮減が、より期待できる。

3 事業計画

(1) 概算事業費

区分	金額（億円）※	備考
新築工事費	約 41～47	単価 750 千円/m ²
既存建物改修費用	約 6～7	単価 350 千円/m ²
医療機器更新費用	約 7～8	
その他工事費用 （設計監理、引越費用等）	約 2～3	
計	約 56～65	

※ 着工時の建築費高騰リスクとして最大約 65 億円を見込む。

(2) 収支計画等

【主な設定条件】

収入				支出（※）	
病床数	病床稼働率	入院単価	外来単価	給与費	材料費
60床	95%	約38千円	約8千円	約80%	約20%

※対入院外来収益比率

【収支計画】

金額（億円）	収入		支出			純利益
	うち入院収益	うち入院収益	うち人件費	うち経費		
20年平均	約17	約7	約19	約9	約5	約▲2

(3) 整備スケジュール

2024 年度 令和 6 年度	2025 年度 令和 7 年度	2026 年度 令和 8 年度	2027 年度 令和 9 年度	2028 年度 令和 10 年度	2029 年度 令和 11 年度
●基本構想	●基本計画	基本設計・実施設計	着工準備・ 契約手続	建築工事	●開院 既存棟（旧棟） 解体等